

Radicom

Radiology & Communication

Vol.1

聖隷浜松病院 放射線科 / 腫瘍放射線科
放射線部

発行責任者：増井孝之

編集責任者：栗田仁一

発行日：2016年08月01日（隔月発行）



放射線科部長
増井孝之

日頃は共同利用という形で、当院の放射線機器を多くの方にご利用いただき大変感謝申し上げます。地域の先生方との連携をより深めるため、このたび「Radicom」を発行させていただくことになりました。

当院では最新の放射線機器を備えておりますので、検査や装置の紹介はもちろん、先生方の不安や疑問にもごたえ、より良い医療・サービスを提供していけるよう努めて参りたいと存じます。今後ともよろしくお願ひいたします。



腫瘍放射線科部長
野末政志

聖隷浜松病院では、「浜松の地にて国内最善の放射線治療を受ける事ができる」事を合言葉に、2001年から新機種導入及びそれらを使いこなした高レベル高機能の放射線治療を提供し続けています。

日常生活を維持したままでの放射線治療・抗がん剤と安全に併用できる放射線治療・術後であっても患部に負担の少ない、より効果的で旧来より遥かに有害事象の少ない放射線治療（外照射）が可能になりました。

今後定期的に新しい放射線治療の流れをお届けしようと考えています。

当院の画像診断結果報告について

☆ 1週間以内に郵送にて報告

緊急の場合は、検査翌日に読影レポートのみFAXで返信することも可能です。

☆ 当院放射線科医師による読影

常勤専門医が読影をします。レポートについてご不明な点がございましたら、遠慮なくお尋ね下さい。お電話にて対応させていただきます。

☆ 詳細なレポートを提供（※画像添付）

裏面が読影レポートのサンプルです。画像データも提供致します（CD-R or フィルム）。

☆ 専用Webシステムをスタート

専用のWebシステムをご利用頂ければ、撮影直後から画像の参照が可能、またレポートは翌日から閲覧可能です。本システムをご希望される場合はお問い合わせ下さい。



現在の予約状況（緊急検査は随時対応致します）

《CT》 即日対応可

《PET》

翌平日対応可

《MRI》 約1週間以内

《放射線治療》

随時受付中



放射線部技師長
栗田仁一

日頃から大変お世話になっております。この「Radicom」では、放射線検査および治療に関する情報をよりタイムリーにお届けし、先生方の日頃の診療にお役立てできる内容としていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。

ご予約・お問い合わせ
地域医療連携室（JUNC）まで



0120-107-352

受付時間

8:30～18:30（月～金）

8:30～12:30（土） ※日祝日は休み

聖隷浜松病院画像診断報告書

MRI

患者 ID :
検査日付 :
検査時刻 :
部位 : 脳

装置名 :

氏名 :
生年月日 :
依頼科 :
造影 : なし

Exam No :
性別 :
病棟 : 外来
特殊検査 : MRA (脳)
依頼医師 :

【臨床診断】

健診で発見された動脈瘤。精査目的

【Findings】

MRA で前方循環系及び後方循環系とも軽度のアテローム硬化性の広狭不整が認められますが、主幹部レベルに高度狭窄や閉塞は認めません。

右中大脳動脈分岐部

ます。

FLAIR で急性期～
T2 強調画像で、su

ありません。

両側側脳室周囲深部

、小さな陳旧性虚

血性変化が散在します。少なくとも、基底核、視床、脳幹など深部穿通動脈系にラクナ梗塞状態は認めません。

急性期から亜急性期の梗塞や実質内出血の所見は認めません。

【Impression】

右中大脳動脈分岐部、未破裂脳動脈瘤、径 4mm。

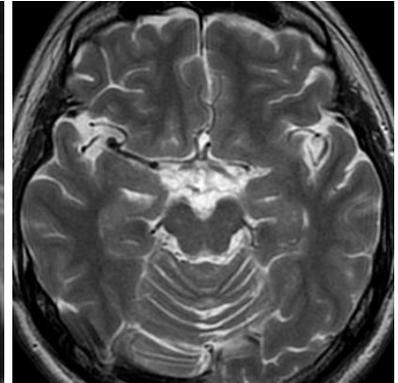
Key Image No.1



Key Image No.2



Key Image No.3



診断医 :

記述者 :

承認医 :



Seirei Hamamatsu General Hospital